学校番号	３１５

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	ステップアップスポーツ　（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・大塚体操・大塚サーキット・集団行動を通じて基礎体力の向上や協調性を身に着けよう。
・基本的な運動技能や体力を向上させ様々な種目に対応する能力をつけよう。
・専門的な授業を通じて運動をより高いレベルで実践する喜びや、達成感を自他共に味わおう。
・授業を通じて挨拶などの他人を敬う礼節を身につけよう。

2　学習の到達目標

・年間を通じて運動を継続する習慣をつけ、基礎体力の向上を身につける。
・自己だけでなく他人を気遣い、周りを見渡せる心遣いを身につける。
・生涯体育を目指す体力と健康についての知識や、理解力を高め健康の保持増進のための実践力と知識を身につける。
・生涯にわたってスポーツライフを継続できる資質や能力を身につけ、健康の保持増進をはかる能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	健康や安全を確保し自主的に体育実技に望む態度を持っている。 自他の体力や能力を客観的に理解し、気遣いができ、周りを見渡せる力をつける。	自己や他人の課題を理解し、指示された中での工夫をし、周りへの指導もできる。	記録や運動技能の向上を目指し、高い目標設定で仲間と協力し、各種目特性に応じた段階的な技能を身につける。	各種運動の技術の名称や練習方法の理解。 各スポーツのルールの理解および実践。
評価方法	授業態度の観察 レポートなど	レポート 授業観察	技能観察 記録測定 レポートなど	レポート 体育理論小テストなど

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	集団行動　体作り運動　球技(女子)　器械運動　ダンス(女子)　体育理論	体育理論(オリエンテーション) 集団行動 大塚体操、大塚サーキット バレーボール 陸上(短距離) 器械運動(マット運動)	○	○	○	○	a:体つくりの運動を楽しく実践し、体力向上にむけた工夫をしている。 b:集団での約束や課題克服を集団行動を通じてできる。また、周りの生徒を、牽引できている。 c:球技における協調性と実践する技能を課題に応じて工夫している。 d:運動の継続する意義を理解している。年間を通しての種目による体力向上を計画的に見通す。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート
	水泳　体育理論　武道(男子)	水泳 　クロール 武道(柔道) 体育理論(水分補給、水泳授業オリエンテーション)	○	○	○	○	a:各種目の楽しさや、喜び達成感を感じる。 b:　日常的な水泳の技術を理解し生涯にわたり使えるものとしていく工夫をしている。 c:効率的な泳ぎ方を理解し実践している。 d:スポーツの歴史や特性について理解を深める。ルールの理解。栄養学見地からの水分補給を学ぶ。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート 小テスト

2学期	球技(女子) ダンス(女子) 陸上	バレーボール ダンス 陸上(ハードル)	○	○	○	○	a:各スポーツのマナーやルールを理解しオリジナルなローカルルールを設定し楽しむことができる。 b:生涯にわたり楽しむことができる工夫をする。 c:より早く正確な動作をする。 d:継続した運動の実践をする。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート
	武道(男子) 器械運動(男子) 水泳	武道(剣道) 器械体操 鉄棒 マット運動 水泳 平泳ぎ	○	○	○	○	a:各スポーツのマナーやルールの理解を正確にしている。 b:生涯にわたり武道、スポーツを楽しむことができる工夫をする。 c:より早く正確な身のこなしをする。 d:伝統的な考え方や稽古の仕方を学ぶ。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート
3学期	陸上 ダンス(女子) 球技(男子) 体育理論	持久走 12 分間走、1500M 走 ダンス ラグビー 体育理論(個人の体力に応じた長距離のラップ、ペース)	○	○	○		a:技術やダンスの名称を理解し表現できている。 b:12 分間走で自分の判断でのペースを実行できている。 c:12 分間走での自己達成をしている。 d:ラグビーを通してフェアプレーやチームプレーを理解し他に生かす。	受講態度の観察 技能観察 記録測定 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。